

# 総合計画後期基本計画を推進するに当たり、 責任ある行財政運営のかじ取りを

これまでの本市の行財政運営は、市税等の自主財源が減少し、三位一体改革による地方交付税の削減等もあって、歳出削減を中心とした取り組みが主なものだったが、これからは行財政改革だけではなく、本市の未来を見通した市政運営が必要であるとして、次のような質問があった。

総合計画2006～2015  
後期基本計画(案)と  
過疎地域自立促進計画(案)

### 今後の財政運営の見直し

**問** このたびの過疎地域指定による財政支援を受けることで、今後の財政運営は好転するのかが。

**答** 歳入面では、個人市民税や固定資産税が減少し、また、歳出面では、高齢化等の影響により生活保護費などの扶助費が増加を続けており、財政健全化計画の大きな目標である抜本的な財政構造の改革が図られた状況ではない。

過疎地域指定による財政支援をまちづくりのための財源として有効に活用することで、本市の基礎体力を養っていければ、財政状況の好転につながっていくのではないかと考える。

### 今後の社会基盤の老朽化への対応

**問** 高度経済成長期には、道路や橋、下水道などの社

会基盤が急ピッチで整備され、建設後五十年余りを迎え、老朽化による様々な損傷が見られる。

公共インフラを効率よく管理するための手法であるアセットマネジメントの導入の動きが国内でも広がっている中、本市における公共インフラの効率的な維持管理の基本的な考え方を聞きたい。

**答** アセットマネジメントとは、社会資本である構造物の状態を客観的に把握・評価し、中長期的な資産の状態を予測することで、最も費用対効果の高い維持管理を行うための方法である。本市においても、アセットマネジメントの考え方を基本に、従来の事後的な維持・修繕から、予防的な維持・修繕及び計画的な改築・更新へと見直していくべきと考える。

そうすることで、長期的視点でのコストの縮減を図るとともに、今後、老朽化する社会資本の長寿命化を

進め、予算の制約もある中、施設の改築・更新が集中的に発生しないよう、留意していきたい。

### 健康対策

#### 子宮頸がん予防 ワクチンとがん対策

**問** 本市も、子宮頸がん予防ワクチンの公費助成に取り組むべきと思うがどうか。また、がん検診受診率向上の対策について、見解を聞きたい。



対象者に送られているがん検診無料クーポン券

**答** 公費助成については、本市の厳しい財政状況下で、市単独による実施は極めて

厳しいが、国の助成措置の概要や他の自治体の動向を注視しながら、今後、さらに検討を進めたい。

また、がん対策については、がん検診普及啓発の取り組みや受診しやすい環境整備などの取り組み、さらには、女性特有のがん検診推進事業を積極的に活用するなど、今後も受診率の向上に向けた取り組みを進めていきたい。

### HTLV-1感染

**問** HTLV-1(成人T細胞白血病ウイルス)感染に関して、国は来年度から妊婦抗体検査を全国一律に公費負担とする意向を表明したが、どう考えるか。

また、患者や家族の相談体制が必要だが、周知を含めた取り組みを聞きたい。  
**答** 対策の必要性については十分認識しており、国の動向を踏まえ、患者や家族の相談体制や周知の仕方などを含めて対応しなければならぬと考えている。